

あいとう診療所便り

2026年7月号(第194号)

発行: あいとう診療所

(所長 横田 哲朗)



☎ 0749-46-8030

IP ☎ 050-5801-8030



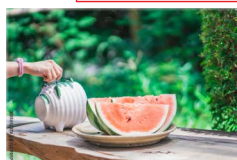
7月の予定

- ・整形外科 3日、17日
- ・栄養相談 10日(予約制)
- ・楽しく栄養塾 10日(予約制)



8月の予定 回 覧

- ・整形外科 7日、21日
- ・栄養相談 21日(予約制)
- ・愛☆カラダ塾 21日(予約制)
- ・お盆休み 8月10日(火)、8月13日(木)~16日(日)



子どものアレルギー検査は何歳からできますか？

食べ物や動物、花粉などに対するアレルギーが心配で、採血によるアレルギー検査を希望され受診されることがあります。

また、園や学校にアレルギーの診断書を提出する際に、アレルギー検査結果を添付するように指導されることもあるようです。

小さなお子さんの採血は大変難しく、危険を伴う処置となるため、あいとう診療所では下記に該当するお子さんの採血は見合わせています。



- ① 理解が得られず暴れる危険性が高い(おおむね6歳未満)
- ② 肉付きがよく血管が浮き出てこない

☆上記に該当しているものの検査が必要な場合は、病院の小児科へ紹介しています。

予約・お問い合わせ

東近江市 あいとう診療所

☎ 0749-46-8030

IP ☎ 050-5801-8030

喘息の治療の基本は「吸入ステロイド薬」

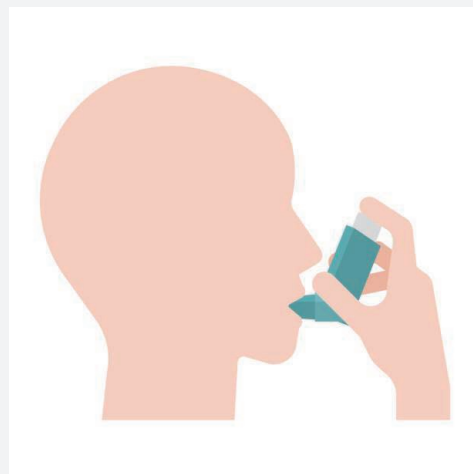
吸入ステロイド薬は、気管支喘息などの呼吸器疾患で炎症を抑えるために使われる薬です。

気道の炎症は症状がなくても進行することがあり、これを放置すると発作のリスクが高まります。

吸入ステロイド薬は毎日続けて使うことで、気道を健康な状態に保ち、発作を予防する効果があります。

ステロイドと聞くと副作用が心配になりますが、内服（飲み薬）と比較して吸入は全身への影響が少ないのが特徴です。

☆ 喘息の治療で最も大切なのは、発作が起こってから治療することではなく（もちろん治療しますが）、**吸入ステロイド薬**などを用いて「発作を予防する」ことです。



診療所ホームページはこちら ▶

診療所だよりのバックナンバーや診療所からのお知らせ等を掲載しておりますので是非ご覧ください。

▶ <https://aito-clinic.com/>



故事・ことわざで脳トレ！

- ① 大きな集団の末端にいるよりは、小さな集団でもその長になるほうがよい
..... ○の尾より○の頭
- ② 多くの人の中で最もすぐれた人のたとえ ○眉
- ③ 物事のほとんどを完成させながら、最も重要な点が欠けているたとえ
..... ○作って○入れず
- ④ 話のうまい人は、話を聞くのもまたうまいということ ・ ○上手は○○上手

故事・ことわざで脳トレ！の答え

- ① 鯛（たい）の尾より鰯（いわし）の頭（かしら）
類義語：鶏口となるも牛後となるなかれ（鶏口牛後）
- ② 白眉（はくび）
中国の三国時代、蜀の馬氏五兄弟はいずれも優秀だったが、中でも眉毛に白い毛が混じっていた馬良（ばりょう）が最も優れていた
- ③ 仏作って魂（たましい）入れず
類義語：画竜点睛（がりょうてんせい）を欠く
- ④ 話上手は聞き上手

編集後記

最近入れ込んでいるのが、朝ドラの「風、薫る」です。先日看護覚え書の場面が出てきて、若かりし学生時代に一生懸命シーツ交換の練習に取り組んでいたことが蘇ってきました。初心忘るべからず。（T.K.）